議案第 3 号

JADEC（日本糖尿病協会）福岡（福岡県糖尿病協会）

2026 年 度 事 業 計 画（案）

はじめに

5 年にわたる新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響は、私たちの活動にも大きな影響を与えました。感染リスクを最小限に抑えるため、我々は慎重に事業を運営しなければなりません。今年度も皆様と共に、より安全かつ効果的な支援を提供できるよう努めてまいります。 このような中、感染リスクを考慮すると、事業を中止せざるを得ないケースもあるかと存じますのでご了承ください。

1. 第 62 回 ダイアベティスウィーク＜2026 年 11 月 9 日(月)～15 日(日)＞における事業

テーマ 小さな一歩が未来を変える － 肥満対策とダイアベティス予防 －

(1)ダイアベティスウィーク行事（糖尿病教室、糖尿病の集いなど）の開催 ＜県内4地区＞

※講演会、各種展示、血糖自己測定指導、医療・栄養相談など、地区毎に工夫を凝らしたダイアベティスウィーク行事を開催する。

(2)「World Diabetes Day 2026」ブルーライトアップ FUKUOKA の開催 ＜県内 4 地区＞

※国際連合（国連）は、IDF（国際糖尿病連合）が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を 2006 年(平成 18 年)12 月 20 日の国連総会議において採択した。同時に 11 月 14 日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界の各地で糖尿病の予防、治療、療養の大切さを喚起する啓発運動を推進することを呼びかけた。2024 年から名称を「World Diabetes Day」に改称。

※当協会では、2008 年(平成 20 年)から世界糖尿病デー・ブルーライトアップイベントを開催(2008 年は、大牟田市役所、2009 年～2014 年は、福岡タワー)している。
2015 年(平成 27 年)からは、多くの県民の方々に「世界糖尿病デーの意義」をご理解いただくために、県内 4 地区において開催している。

※2026（令和 8）年も引き続き県内 4 地区においてブルーライトアップイベントを開催する。

（注 1)開催日は、World Diabetes Day の 11 月 14 日（金）を基本とするが、やむを得ない事情がある場合は、ダイアベティスウィーク内および週間外の 11 月 7 日(土)、15 日(日)に開催しても差支えない。

（注 2)第 62 回ダイアベティスウィークと World Diabetes Day 2026 ブルーライトアップイベントは、原則、別々開催とするが、やむを得ず同時開催する場合には、経理区分を明確にすること。

2. 糖尿病及び合併症予防のための講演会の開催＜県内 4 地区＞

※本講演会は、糖尿病患者が年々増加する中で、多くの県民の方々に「糖尿病の正しい知識を学んでいただく」場とするために、1999(平成 11)年度に県内 4 地区でスタートした。

※2026(令和 8)年度も県内 4 地区において開催する。

（注 1）開催地決定にあたっては、毎年、開催場所（市町村）を変えるなど、地区内の末端まで

情報が伝わるような工夫を行う。

(注 2)事業実施に当たっては、「糖尿病及び合併症予防のための講演会開催マニュアル（H.26.9.30 制定）に沿って行うこと。

(注 3)開催に当たっては、積極的に市町村との連携を図ること。

3. 歩いて学ぶダイアベティスウォークラリーの開催（全国共通）

※患者さんやご家族などの参加者の交流の場として、また、運動療法の中でも手軽で効果的とされているウォーキングを楽しみながら「糖尿病の正しい知識を身につけてもらう」という趣旨で、47 都道府県で開催されており、当協会は、県内 4 地区で開催してきた。

※2026(令和 8)年度も、原則、現地開催となる予定である。

※本ウォークラリーは、製薬メーカーと JADEC の共催事業である。

4. ブロック活動の推進

(1) ブロック活動を円滑に進めるための実施体制の整備・拡充

① ブロック長は、事業責任者として担当理事を設けるなど、ブロック事業の円滑な実施体制の整備に努める。

② 担当理事は、事業を円滑に進めるために、代表世話人（実行委員長等）をはじめ、実務責任者、事務局員など関係者間の連携が深まるように努める。

③ ブロックの事務担当責任者（経理を含む）および事業毎の事務（実務）責任者を明確にし、県協会事務局との連携を図る。

④ イベント開催は、「イベント開催事務取扱について（1019.4.13）」に沿って行う。

(2) 友の会会員の加入促進

① 友の会会員数は、47 都道府県中第 2 位である。しかし、2016（平成 28）年度までは、5,000 人台を維持してきたが、2017（平成 29）年度には 4,000 人台に落ち込み、その後も高齢化等を背景に年々減少している。

＊10 月 5 日現在の会員数(友の会会員)は、2017 年 4,889 人、2018 年 4,798 人、2019 年 4,611 人、2020 年 4,441 人、2021 年 4,015 人、2022 年 3,754 人、2023 年 3,588 人、2024 年 3,436 人、2025 年 3,285 人、2026 年 3017 人となっている。

② これらの状況を踏まえ、地区ブロック協議会、各友の会は、会員の増加目標数値を掲げ、施設内の患者さん、医療スタッフの皆さん、一般の方々へ加入を呼びかける。

(3) JADEC 制作の学習教材を活用した療養支援について

① 糖尿病患者の療養支援に当たっては、JADEC が開発・制作した資材を積極的に活用して欲しい。（詳しくは、JADEC ホームページ「医療スタッフの方へ」を参照）

② 各ブロックにおいては、これまで、「ダイアベティスカンバセーションマップトレーニング」、「JADEC カードシステム研修会」、「JADEC eラーニング（会員 LCDE はアカウント登録料無料）」に参加されていない医療スタッフ（LCDE など）の方々に参加を促す。

(4)行政機関、医師会、歯科医師会、関係団体等との連携強化

①ブロックでの活動を進めるに当たっては、積極的に関係機関等との連携強化を図る。

(5)友の会発展に繋がる事業の推進・支援

①ブロック主催の交流イベントの開催(ブロック内友の会への参加の呼びかけ)

②友の会の発展に繋がる事業の推進・支援。

5. 友の会等における模範的な活動の表彰制度

(1) 友の会等(友の会並びに地区ブロック協議会)の活動を活発化し、会員の増強を促すために、他の模範となる活動実績および活動企画(企画・アイディア)について表彰する。

(2) 友の会等活動表彰応募要領(平成 29 年 10 月 7 日常任理事会決議)抜粋

1)表彰部門➡「活動実績部門」と「企画・アイディア部門」

2)応 募 者➡ 福岡県糖尿病協会の「友の会」または「地区ブロック協議会」

3)応募対象作品

①勉強会、料理教室、情報交換会、歩く会など運動、旅行など、活動内容が、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発および糖尿病患者の QOL(生活の質)の向上に貢献すること。

②参加者の評価が高く、知人患者等に参加を呼びかけたくなるような活動内容であり、かつ、全国の友の会等にモデル事業として紹介したくなるもの。

③上記①②に相当するものになると考えられる活動企画(企画・アイディア)。

4)応募申請➡「友の会等活動表彰応募申請書」による。

5)応募件数➡表彰部門ごとに 2 点までとする。

6)応募締切➡各地区ブロック協議会は、応募申請作品を絞り込み、12 月末日までに、福岡県糖尿病協会事務局に提出する。

7)審査➡審査には、福岡県糖尿病協会正副会長および事務局長が当たる。

8)表彰➡○活動実績部門　　優秀賞 2 点 賞金 30,000 円／点

○企画アイディア部門　優秀賞 2 点 賞金 20,000 円／点

6. 福岡県糖尿病対策推進会議の構成員としての活動

(1)福岡県糖尿病対策推進会議への参加

(2)福岡県糖尿病性腎症重症化予防対策協議会への参加

(3)World Diabetes Day 2026 ブルーライトアップinFUKUOKAの開催

・当協会が実施主体となって、県内 4 ブロックで開催

(4)第 25 回健康 21世紀福岡県大会への参加

・日時 令和 8 年 10 月 18 日(日) 10:00～16:00 (時間は予定)

・場所 イオンモール八幡東(北九州市八幡東区東田 3 丁目 2-102)

(5)県庁ロビー展示への参加

7. 登録医、糖尿病認定医、専門医部会(医師部会)の活動

○実地医家のための糖尿病セミナー(日糖協糖尿病認定医資格取得のための講習会)の開催＜県内 4 地区ブロック＞

8. 会議等

(1) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 正副会長会議
(2) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 常任理事会
(3) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 理事会
(4) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 総会
(5) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 医師部会
総会及び実地医家のための糖尿病セミナー
(6) JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会) 地区ブロック協議会の開催
(7) JADEC 九州ブロック会議の開催
(8) 災害時の糖尿病医療支援チーム(仮称:福岡県DiaMAT組織)構築